

## 目次

最新情報.....	1	メンテナンス項目.....	4
マニュアル追補.....	1	V2.00の修正.....	4
新機能.....	2	V1.20の修正.....	4
V2.00の追加.....	2	V1.11の修正.....	5
V1.20の追加.....	2	V1.10の修正.....	5
V1.10の追加.....	2	V1.04の修正.....	5
V1.04の追加.....	3	V1.03の修正.....	6
V1.03の追加.....	3	V1.02の修正.....	6
V1.02の追加.....	3	ファームウェアバージョンの確認.....	7
		ファームウェアアップデート手順.....	7

## 最新情報

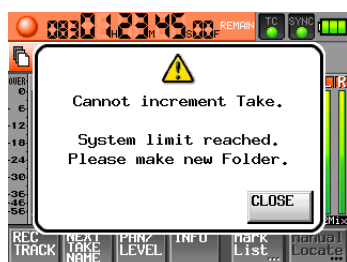
本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

## マニュアル追補

## 録音動作での制約事項

本機の特性として、1フォルダー内の全エントリー数（ファイル、フォルダー等の総数）が約2000を超えると、そのフォルダーでの録音ができなくなります。このため、以下の様なことが発生することがあります。

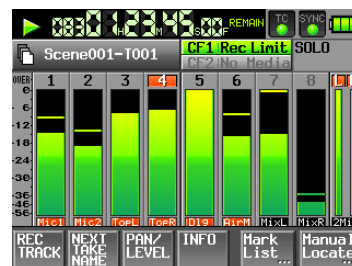
- 録音中にRECキーを押した際に、次のテイクの録音を開始できない場合があります。このとき、以下のポップアップメッセージが表示されます。



- プロジェクトやフォルダーをロードした際に、そのフォルダーへ録音できない場合があります。このとき、以下のポップアップメッセージが表示されます。



また、これらのときにはホーム画面の現在選択されているCFカードの録音可能残り時間表示部に“Rec Limit”と表示されます。



## 注意

1フォルダー内の全エントリー数には、本機外で作成されたファイルやフォルダーも含まれます。また、管理ファイルやシステムファイルなどの通常見えないファイルやフォルダーも含まれます。

## 新機能

### V2.00の追加

- “REC MODE” タブ画面の “REC Mode” 項目が “Mirror” に設定されている際の動作を改善しました。
    - 2枚のCFカードに必ず同じ名前プロジェクト/シーンを作成するようにしました。
    - テイク名/カレントプロジェクト名を編集した際、カレントでないCFカードのテイク名/カレントプロジェクト名も変更するようにしました。
    - リテイク (SHIFT+STOPキー) を実施した際、カレントでないCFカードのテイクもリテイクするようにしました。
  - “REC MODE” タブ画面の “REC Mode” 項目が “Mirror” に設定され、ミラー録音が有効な状態でテイクを削除した際、カレントでないCFカードのテイクに対する動作を “RENAME” または “DELETE” から選択できるようにしました。
  - ステレオミックス (LR 2mix) を同時に録音したテイク名を変更した際、ステレオミックステイクファイル (~\_ST.wav) の名前も変更するようにしました。
  - 録音中の誤操作による録り逃し防止のために、キーの長押しで録音を停止させる機能を追加しました。
  - ホーム画面の時刻表示モードにTC Generator時刻を表示する “TC GEN” モードを追加しました。
  - ホーム画面の時刻表示モード切り換えをプルダウンメニュー方式に変更しました。
- ホーム画面テイク名ボタンを押すとプルダウンメニュー項目を表示し、下記操作を簡単に実施できるようにしました。
    - TAKE List : 現在のプロジェクト/シーンのテイクリスト画面への切り換え
    - CIRCLE @ TAKE : テイク名先頭に “@” を付ける/削除する (Circle Take)
    - EDITNAME : カレントテイク名編集画面への切り換え
  - 外付けキーボードの下記キーを押すことで、下記操作をする機能を追加しました。
    - F12 : カレントテイク名編集画面への切り換え
    - SHIFT+F12 : 現在のプロジェクト/シーンのテイクリスト画面への切り換え
    - Ctrl +@ : テイク名先頭に “@” を付ける/削除する (Circle Take)
  - “CREATE PROJECT” 画面に “Bit Length” の設定を追加しました。これにともない、“CREATE PROJECT” 画面を3ページ構成に拡張し、全てのページに “CREATE PROJECT” 実施ボタンを表示するようにしました。

詳しくは、HS-P82の追補「ファームウェアV2.00の新機能追加」を参照ください。

### V1.20の追加

- ライン入力の入力レベルをインプットトリムつまみで調整する機能を追加しました。
  - テイク名を変更する機能を追加しました。
  - 外部TCとの同期状態に合わせて、本機が自動的に録音を開始/一時停止する機能を追加しました。
  - “REMOTE SETUP” 画面の “Function Key Assign” 項目に “EDIT NEXT TAKE PREFIX” と “EDIT NEXT TAKE NAME” の設定を追加しました。
  - ホーム画面、“REC SETUP” 画面 “REC TRACKS” タブ画面、“CHANNEL SETUP” 画面および “METER SETUP” 画面において、DATAダイヤルを押すと、MIC/LINEのTrim値をメーター下部にしばらく表示する機能を追加しました。
  - 文字入力画面および数字入力画面表示中に外付けキーボードのSHIFTキーを押しながらBACKSPACEキーを押すことで、入力文字/数字を全てクリアする機能を追加しました (数字入力画面では今までEscキーで入力値をクリアしていたのを変更しました)。
- 文字入力画面表示中に外付けキーボードの↑キー/↓キーを押すことで、カーソル位置を文字列の先頭/末尾に移動する機能を追加しました。
  - 外付けキーボードのEscキーを押すことで、本体フロントパネルのEXIT/CANCELキーと同じ動作をする機能を追加しました。
  - 外付けキーボードのF1~F4キーを押すことで、RC-F82のF1~F4キーと同じ動作をする機能を追加しました。
  - 外付けキーボードのF5~F11キーを押すことで、本体のキーと同じ動作をする機能を追加しました。

詳しくは、HS-P82の追補「ファームウェアV1.20の新機能追加」を参照ください。

### V1.10の追加

- 2枚のCFカードに同時に録音するMirror録音機能を追加しました。
- HS-P82本体のSHIFTキーを押しながらSLATEキーを押すことで、SLATE ON状態を保持するようにしました。但し、RC-F82からの操作では保持できません。
- テイク情報のポップアップ表示にテイクのEND Timecodeの表示を追加しました。

#### メモ

詳しくは、HS-P82の追補「ファームウェアV1.10の新機能」を参照ください。

## V1.04の追加

- ポップアップメッセージの“OK”ボタン／“CANCEL”ボタン選択を、PS2キーボードのENTERキー／ESCキーで選択できるようにしました。
- トリムグループ機能を追加しました。また、本機能追加にともない“REMOTE SETUP”画面“RC-F82”タブの“FunctionKey Assign”設定項目に、“MIXER (TRIM GROUP)”を追加しました。
- MSマイク接続モードを追加しました。
- トリムつまみを左絞りきりでミュートとする機能を追加しました。

- 2GB以下のCFカード、FAT16形式でのフォーマットに対応しました。
- CFカード読み込みに失敗した場合のメディア状態を、“NoProject”状態から、エラー表示を行い“UNMOUNT”状態とするように変更いたしました。
- PowerOffGenerator機能の精度のさらなる向上を行いました。

### メモ

詳しくは、HS-P82の投げ込みシート「ファームウェアV1.04の新機能」を参照ください。

## V1.03の追加

- TASCAM RC-F82（フェーダー ユニット）に対応しました。機能詳細につきましては、RC-F82の取扱説明書をご覧ください。

## V1.02の追加

- これまでシーン（Scene）と呼んでいたものを、フォルダー（Folder）に呼称を変更しました。これにともない、ボタンや画面上も“Folder Name”ボタン、“FOLDER NAME”画面などに変更しました。フォルダー名(旧シーン名)の初期値は、“Scene”+3桁の数字のまま変更はありません。その他、取扱説明書本文に記載されている「シーン」は、「フォルダー」に置き換えてお読みください。
- プロジェクト、フォルダー、テイクに各々の通し番号を付加し、これを表示するようにしました。プロジェクト番号はメディア全体でプロジェクトを作成した順に、フォルダー番号は各プロジェクトでフォルダーを作成した順に、またテイク番号はフォルダーで録音した順に付けられます。
- プロジェクト名などを編集する画面に“Date”ボタンを追加し、本体内蔵時計の日付を名前として挿入する機能を追加しました。“Date”ボタンが追加された画面は、以下のとおりです。
  - 新規プロジェクト作成時のプロジェクト名編集画面
  - 新規プロジェクト作成時の1stフォルダー名編集画面
  - 新規フォルダー作成時のフォルダー名編集画面
  - プロジェクト名変更時のプロジェクト名編集画面
  - 次テイク名編集時のユーザーワード編集画面

### 注意

同じプロジェクト名またはフォルダー名があるときは、“\_”（アンダースコア）に加えて、その時点で存在しない番号が付加されます。

- ホーム画面に“NEXT TAKE NAME”ボタンを追加しました。このボタンを選んで表示される“NEXT TAKE NAME”ブルアップ表示で、次回録音するテイクのテイク名を変更することができます。これまでシーン名が自動で付けられていたテイク名の前半部も“UserWord”モード（ボタン）を選択し“EDIT”ボタンを押して表示されるユーザーワード編集画面で変更ができます。テイク名は、数字部を除き録音中は変更できません。

- ファイルモードで“MONO”を選択した際に、音声ファイルの記録フォルダーを、フォルダーの直下に音声ファイルを直接記録するフォルダー（Folder）モードを追加し、従来のモード（フォルダーの直下にテイク毎のサブフォルダーを作成し、ここに記録する）をサブフォルダー（Subfolder）モードとし、これらの2種類から選べる様にしました。初期値は、“SubFolder”です。

- ファイルモードで“MONO”を選択した際に、音声ファイルの記録フォルダーをフォルダー（Folder）モード、サブフォルダー（Subfolder）モードの2種類から選べるようにしました。

- フォルダー（Folder）モード：  
フォルダーの直下に音声ファイルを直接記録します。（新規追加）
- サブフォルダー（Subfolder）モード：  
従来の方式で、フォルダーの直下にテイク毎のサブフォルダーを作成し、ここに記録します。

初期値は、“SubFolder”です。

### 注意

フォルダー（Folder）モードを選択したときには、総エントリー数（ファイルとフォルダー、通常表示されないものも含む）の制限から録音できるトラック数が制限されます。

- TASCAM HD-R1およびHD-P2で録音されたファイルのリビルドに対応しました。
- 32GB / 64GBのCFカードに対応しました。

## メンテナンス項目

### V2.00の修正

- BWFファイルのBEXT Chunkデータにテイク情報を追加しました。
- BWFファイルのiXML情報にデバイス/バージョン情報を追加しました。
- Cbit信号がコンシューマーに設定されたデジタル入力信号を受信できるようにしました。
- “SYNC/TC” 画面 “SETUP” タブ画面の “FrameType” 設定が “23.976F” の状態で、フレームタイプが29.97NDFのタイムコードが入力された際、入力タイムコードのフレームタイプに “30NDF” と表示していたのを “29.97NDF” と表示するように修正しました。
- 読み取り専用設定されたWAVファイル/ BWFファイルに対してマークの登録/マークおよびファイル名の編集操作をした際、読み取り専用ファイルでは登録・編集できない旨のメッセージを表示するようにしました。
- マーク時刻編集画面で “Enter” ボタンを押しても自動でマークリスト画面に戻らなくなっていた不具合を修正しました。
- “REC MODE” タブ画面の “REC Mode” 項目が “Mirror” に設定されている状態でプロジェクトを作成した直後にステレオミックス (LR 2mix) を同時に録音し、その後カレントCFカードを切り換えると、リビルドするまでステレオミックスファイルがテイクリスト画面に表示されない不具合を修正しました。
- マークリスト画面で、マークが削除できなくなっていた不具合を修正しました。
- “METER SETUP” 画面の “Peak Hold Time” 項目が “inf” に設定されていると、リミッターが効いた状態で点灯するメーター部の青いインジケーターが、リミッターが効いていない状態になっても青く点灯したままになる不具合を修正しました。
- リミッター・オンの状態で入力レベルがオーバーロードに達した後に、入力レベルが下がってリミッターが効いているレベルになった際、赤いオーバーロードインジケーターが “METER SETUP” 画面の “PEAK HOLD TIME” 項目で設定された時間保持されず、すぐに青いリミッターインジケーターが表示されてしまう不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

### V1.20の修正

- “REC SETUP” 画面 “REC MODE” タブ画面の “REC MODE” 設定を “Mirror” に設定してリテイクした際、カレントでないメディアのテイクはファイル削除しないため、リテイクしたテイク名を再利用して録音できませんでした。カレントでないメディアのテイク名を「元のファイル名\_リテイク時刻.wav」に変更することで、リテイクしたテイク名を再利用して録音できるようにしました。
- “REC SETUP” 画面 “REC MODE” タブ画面の “REC MODE” 設定を “Mirror” に設定して録音すると、iXMLの<TAKE>フィールドの値が本来の値よりも1つ大きな値でWAVファイルに記録される不具合を修正しました。
- “REC SETUP” 画面 “REC MODE” タブ画面の “REC MODE” 設定を “Mirror” に設定してカレントでないメディアを抜き差し後に録音すると、カレントメディアにテイクが録音されない不具合を修正しました。
- “REC SETUP” 画面 “REC MODE” タブ画面の “REC MODE” 設定を “Mirror” に設定して下記設定を変更した際、カレントでないメディアにもiXMLデータをコピーするように修正しました。
  - “REC SETUP” 画面 “FILE FORMAT” タブ画面の “Bit Length” 設定
  - “NEXT TAKE NAME” 画面テイク名後半部のアルファベット1文字
- “REC SETUP” 画面 “REC MODE” タブ画面の “REC MODE” 設定を “Mirror” に設定してCreate Projectを実施した際、カレントに選択されていないメディアで最後に選択されていたProjectの設定ファイルが上書きされる不具合を修正しました。
- “REC SETUP” 画面 “REC MODE” タブ画面の “REC MODE” 設定を “Mirror” に設定した後に、“REC SETUP” 画面 “FILE FORMAT” タブ画面の “Mono File Place” 設定を切り換えてから録音すると、カレントに選択されていないメディアでは切り換え前のMono File Placeにファイルが録音されてしまう不具合を修正しました。
- WAVファイルのiXML情報のうち、CurrentProject/Session情報が間違っていた不具合を修正しました。
- テイク選択画面で “Circle Take” を実行した際、iXMLの<CIRCLED>タグも変更するようにしました。
- “NEXT TAKE NAME” 画面で “User Word” に設定していてもiXMLの<SCENE>タグにフォルダー名を記録していましたが、“NEXT TAKE NAME” 画面で設定されている名前を記録するように修正しました。また、iXMLの<TAPE>タグを追加し、ここにフォルダー名を記録するようにしました。
- “NEXT TAKE NAME” 画面に2つある “EDIT” ボタンを押して表示する文字入力画面のタイトルが、2つとも “NEXT TAKE” というタイトルになっていました。このうち、テイク名後半部のアルファベット1文字を編集する画面のタイトルを “TAKE PREFIX” に変更して分かりやすくしました。
- “LOCK SETUP” 画面で “LCD Section” がLockされていても、RC-F82のF1～F4キーで画面呼び出しできる不具合を修正しました。
- JAM SYNCが同期しないことがある不具合を修正しました。
- 録音開始時に “Mark Point Already Exist at the same timestamp” とポップアップメッセージが表示されることがある不具合を修正しました。
- RecPause後に録音を再開するとオートマークが正しく設定されないことがある不具合を修正しました。
- Pause ModeがNO SPLIT設定の際、Rec Pause状態にしてから録音を再開すると、録音可能時間分録音できなかった不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

## V1.11の修正

- サンプリング周波数が176.4kHz/192kHzのプロジェクトにおいてノイズが発生する不具合を修正しました。
- パリティデータやバリッド情報にエラーがあるデジタル信号を入力できるようにしました。
- 動作の安定性を向上させました。

## V1.10の修正

- **SLATE**キーを押してからONになるまでの誤操作防止用のレイ時間を600msから200msに短縮しました。
- Low Cut Filterの低域でのS/Nを改善しました。
- 録音時にファイルに記録されるスタートタイムの精度を向上しました。
- **“PROJECT”** 画面の視認性向上のため、カレントプロジェクトとカレントフォルダーのフォルダーアイコンを黄色、それ以外のフォルダーアイコンを灰色に変更しました。
- ポップアップメッセージが表示されたまま録音を開始するとタイムカウンターが表示が動かない不具合を修正しました。
- 本機以外で作成されたWAVファイルにマークポイントを追加できなくなることがある不具合を修正しました。
- マーク情報が一部読めないことがある不具合を修正しました。
- WAVファイルのbextチャンクサイズが標準サイズより2バイト多くなっていた不具合を修正しました。
- 選択メディア切り換え時にファントム電源の設定が画面表示どおりに設定されないことがあった不具合を修正しました。
- CFカードのルートディレクトリにファイルが多数あると、ファームウェアアップデート用のファイルが表示されない不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

## V1.04の修正

- **“MarkList”** 画面でマークを選択状態にしたままCFカードを切り換えたときに、各マークポイントの編集が行えないことがある不具合を修正しました。
- 最後に登録されている **“MANUAL MARK”** を消去できないことがある不具合を修正しました。
- **“CREATE PROJECT”** ボタンが反応しないことがある不具合を修正しました。
- 新規フォルダーを作成時、自動で表示されるフォルダー名が異常になることがある不具合を修正しました。
- 起動時にフロントパネルのキーを押し続けると、まれにハングアップ状態となる不具合を修正しました。
- プロジェクト作成時、CFカード内に存在する名前を指定しても、警告表示が表示されず、**“CREATE PROJECT”** ボタンが反応しないことがある不具合を修正しました。
- **“NextTakeName”** 後半部分のアルファベット編集時、PS2キーボードから編集を行うと、バックスペース (BS) キー / DELキーで文字が削除できてしまう不具合を修正しました。
- **“Sync TC”** 画面で表示される周波数表示が正常な場合でも、44.1kHzと表示されない不具合を修正しました。
- プロジェクト内にフォルダーが存在しないプロジェクトで名前の編集を行うと、ポップアップ表示が消えなくなる不具合を修正しました。
- CFカードのフォーマット実行時にエラーが発生した場合、エラーメッセージを表示しない不具合を、表示するように修正しました。
- フォルダーコピー時、サンプリング周波数の設定の異なるフォルダー間のコピーを行わないように修正しました。
- タイムコード表示状態時、再生中から停止にする動作で一瞬、再生開始位置のタイムコードが表示される不具合を修正しました。

## V1.03の修正

- 内部ミキサーの“**2Mix LVL**”（ステレオバスに送るレベル）の調整カーブを変更しました。
- BWFファイルの内部情報（iXMLチャンク内のタイムスタンプ情報）に一部誤りがあったため修正しました。
- フォルダーコピーをキャンセルで終了後、フォルダー削除等を行うと正常に終了しない不具合を修正しました。
- 録音後の再生、テイクスキップ後の再生時に**TIMECODE/DIGITAL OUT (OUT 1)** 端子から再生時間と異なる時間が一瞬出力されてしまう不具合を修正しました。
- テイクの最後まで早送りサーチ動作を行うと、テイクの最後でノイズが出力されることがある不具合を修正しました。
- ホーム画面の“**NEXT TAKE NAME**” プルアップ表示において、“**UserWord**” がまれにバックアップされない不具合を修正しました。
- “**PROJECT**” 画面において、まれにFs値がずれて表示されてしまう不具合を修正しました。
- 早送り／早戻しサーチ中に、テイクの切り換わり部分でサーチが解除できなくなることがある不具合を修正しました。
- 偶数チャンネルのソロが有効の際、該当するチャンネルリンクをオンにするとソロが解除できなくなってしまう不具合を修正しました。
- マークポイントへのロケート動作を改善しました。
- まれにタイムコードジェネレーターから不正なデータが出力されてしまう不具合を修正しました。
- 入力タイムコード時刻がごくまれに更新されなくなる不具合を修正しました。
- PS/2キーボードからFATファイルシステムで禁止されている文字の一部が入力できてしまう不具合を修正しました。
- プロジェクトが存在しないCFカードを挿入した際に、まれに発生する不具合を修正しました。
- タッチパネル操作関連の不具合を修正しました。
- “**REC SETUP**” 画面の“**File Mode**” が“**MONO**” または“**POLY**”（1つのチャンネルのみレコードファンクションがオン）のとき、“**LR 2MIX**” のレコードファンクションをオンにして録音すると、“**MAX File Size**” 設定を超えて録音されてしまう不具合を修正しました。

## V1.02の修正

- リファレンスレベルの初期値をこれまでの“**-16dB**” から“**-20dB**”に変更しました。
- “**POWER OFF GEN**” 機能の精度を向上しました。
- 録音開始時のタイムコードの取り込み精度を向上しました。
- “**TC GEN MODE**” を“**REC RUN**” に設定したときのタイムコード出力精度を向上しました。
- ディスプレーの輝度調節機能において、消灯している場合にはタッチパネルを受け付けないようにしました。
- **SLATE**キーが他のキーとともに押されている状態から同時に離すと、**SLATE**インジケーターが点灯し続けてしまう不具合を修正しました。
- “**MARK LIST**” 画面で、表示されているマークが4個以下の場合に空欄部分を押すと、ホーム画面に戻ってしまう不具合を修正しました。
- ファイルモードを“**MONO**” に設定した場合、フォルダー選択画面で“**INFO**” ボタンを押して表示されるポップアップウィンドウ内の“**TOTAL TIME**” の表示内容が、実際と異なる不具合を修正しました。
- プロジェクト選択画面、フォルダー選択画面、テイク選択画面間をすばやく移動すると表示内容が乱れることがある不具合を修正しました。
- チャンネルリンクをオンにした状態で、そのチャンネルセットのファントム電源設定を変更した場合に、偶数チャンネルには設定が反映されない不具合を修正しました。
- チャンネルリンクがオンに設定されているときに、ホーム画面上に表示されている“**CF1**” および“**CF2**” の残り時間表示が、実際と異なる時間が表示される不具合を修正しました。
- デジタル入力に設定されているチャンネルがアンロック状態のとき、チャンネルリンクをオンにすることでアナログ入力に設定が変更されたときに、入力音のミュートが解除されない不具合を修正しました。
- 起動直後にCFカードを挿入したとき、または選択されている方のスロットにすでにCFカードが挿入されている状態で、もう一方のスロットにCFカードを挿入したときに、まれに“**Media Reading**” のポップアップウィンドウが表示されたままになる不具合を修正しました。
- CFカードに記録されているプロジェクトをパソコンで削除し、本機でリビルドを行うと、リビルドが完了しなくなる不具合を修正しました。
- 作成したフォルダー名が31文字の場合、ホーム画面（タブ画面を含みます）のレベルメーターの下に表示されるトラック名が“**Ch1**” のみ空白になる不具合を修正しました。
- **COMPACT FLASH SLOT 2** に挿入したCFカードに設定のバックアップをしたとき、正常に作成されないことがある不具合を修正しました。
- 早戻しサーチ動作の改善を行いました。
- **COMPACT FLASH SLOT 2** に挿入したCFカードに、マーク情報が記録されないことがある不具合を修正しました。
- 録音中に**REC**キーを押して作成された連続テイクを再生したとき、マークの設定ができなくなる不具合を修正しました。
- プリレック開始直後に録音停止すると、まれにハングアップしてしまうことがある不具合を修正しました。
- “**LR 2MIX**” をオンにて録音した場合に、フォルダー内に999個を超えてテイクを作成できてしまう不具合を修正しました。
- ファイルモードを“**POLY**” に設定したときに、“**LR 2MIX**” のトラックのみを録音すると、ハングアップしてしまう不具合を修正しました。
- タイムコードジェネレーターのモードを“**JAM SYNC**” に設定したとき等で、“**POWER OFF GEN**” 機能が、正しく動作しなくなることがある不具合を修正しました。
- フォルダー内にフォルダーやファイルが100個以上ある場合に、該当のフォルダーが削除できないことがある不具合を修正しました。
- サンプリング周波数を96kHzに設定したプロジェクトにおいて、ごくまれに録音データの一部が欠落してしまう不具合を修正しました。

- チャンネル1、2の両方がデジタル入力に設定されており、かつ、アンロック状態の場合に、ボイスメモ／スレートトーン機能が正常に動作しない不具合を修正しました。

- CFカードをスロットに挿入したときに、プロジェクトがあるにも関わらず、まれに“NO PROJECT”と表示してしまうことがある不具合を修正しました。

## ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちのHS-P82のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. フロントパネルのMENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。

3. “VERSION INFO”ボタンを押します。  
ここで表示される“SYSTEM VERSION”（ファームウェアバージョン）を確認してください。ここで表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

## ファームウェアアップデート手順

### 注意

ファームウェアアップデートは、電池残量が十分にある状態もしくは付属の専用ACアダプター（TASCAM PS-1225L）を使用したうえで行ってください。

電池の残量が少ない状態では、ファームウェアアップデートを行えない仕様となっています。

1. TASCAMのウェブサイト（<https://tascam.jp/jp/>）より最新のファームウェアをダウンロードします。
2. CFカードをCOMPACT FLASH SLOT 1のみに入れて、本体の電源を入れます。

### 注意

CFカードは、必ずCOMPACT FLASH SLOT 1だけに入れてください。COMPACT FLASH SLOT 2では、アップデートはできません。

転送時に間違えてCOMPACT FLASH SLOT 2に転送することを避けるために、COMPACT FLASH SLOT 2にはCFカードを入れないでください。

3. MENUキーを押して、“MENU”画面を表示します。
4. “CF/USB MANAGE”ボタンを押して、“CF/USB MANAGE”画面を表示します。
5. “CF SELECT”項目の“SELECT”ボタンを押して、“CF SELECT”画面を表示します。
6. “CF1”の“CF CARD”ボタンを押して、“CF 1”スロットのCFカードを選択します。このとき“CF 1”の背景が黄色になります。
7. “SET”ボタンを押すと、“CF/USB MANAGE”画面に戻ります。
8. USBケーブルでパソコンに接続します。
9. “CF/USB MANAGE”画面が表示されていない場合は、MENUキーを押して表示される“MENU”画面内の“CF/USB MANAGE”ボタンを押して、“CF/USB MANAGE”画面を表示します。
10. “USB”項目の“CONNECT”ボタンを押します。
11. “Touch OK to Enable to USB”というメッセージのポップアップウィンドウが表示されますので、“OK”ボタンを押します。

### 注意

接続中は、“USB mode Enabled. Touch CLOSE to end”というメッセージのポップアップウィンドウが表示されます。

接続している間は、“CLOSE”ボタンを押さないでください。

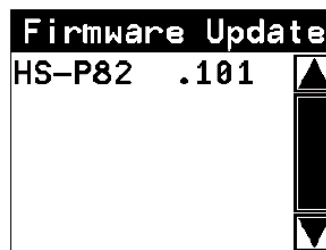
12. ダウンロードしたファームウェアをHS-P82のCOMPACT FLASH SLOT 1に挿入したCFカードのルートフォルダーにコピーします。

### メモ

Windowsの場合には、パソコンの画面上に《HS-P82》が2つ表示されますが、アルファベットの《A》に近い方の《HS-P82》のルートフォルダーにコピーしてください。

Macの場合には、COMPACT FLASH SLOT 1のみにCFカードを挿入している場合には、《HS-P82》アイコンは1つしか表示されませんので、ここにコピーしてください。

13. コピーが終わったら、パソコンから本機を正しい手順で切り離します。
14. “CLOSE”ボタンを押します。  
“Touch OK to Disable USB”というメッセージのポップアップウィンドウが表示されますので“OK”ボタンを押します。
15. 本体の電源を切ります。
16. PAUSEキーとRECキーを同時に押しながら、本体の電源を入れます。  
本体がアップデートモードで起動し、画面にアップデート用ファイルが表示されます。



### 注意

上記の画面が表示されないときは、一旦電源を切り、PAUSEキーとRECキーを同時に押しながら再度電源を入れてください。

PAUSEキーとRECキーは、上記の画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。

### メモ

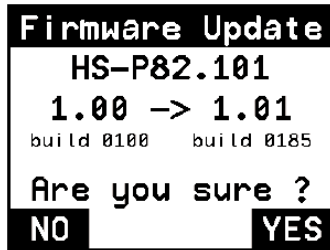
- 上記の画面には、本機のCOMPACT FLASH SLOT 1に挿入されたCFカードのルートフォルダー内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の12.で

コピーされたファームウェアも表示されます。

アップデート用のファイルが無い場合は、“No Update File” と表示されます。

- 表示行はファームウェア最大5行です。表示最大行を超えるファイルがある場合には、画面右側のスクロールバーの“▲”／“▼”のボタンかDATAダイヤルでリストをスクロールさせてください。
- 画面は一例で、実際の表示とは異なります。

17. アップデートしたいファームウェア名を押してください。  
以下の画面が表示されます。



左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョン  
ナンバーが表示されます。

#### メモ

画面は一例で、実際の表示とは異なります。

18. “YES” ボタンを押すと、アップデートを開始します。

#### 注意

アップデート中、電源を切ったり、ACアダプター使用時にAC  
アダプターを抜いたりしないでください。

19. アップデートが終了すると画面下に “Complete POWER  
OFF” と表示した後、自動的に電源が切れますので、再度電源  
を入れてください。
20. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して “SYSTEM  
VERSION” (ファームウェアバージョン) が最新のファーム  
ウェアとなっていることを確認してください。  
以上で本機のアップデート作業は終了です。
21. USBでパソコンと接続して本機のCOMPACT FLASH  
SLOT 1に挿入されたCFカードのルートフォルダー内にある  
ファームウェアアップデート用ファイルを削除してください。